

発行所
 公益社団法人
 全日本仏教婦人連盟
 〒151-0051 東京都渋谷区
 千駄ヶ谷4-5-10-205
 TEL 03-5772-0677
 FAX 03-6434-0184
 URL http://jbwf.jp

沙羅の樹



No.6

2016年秋号
 10月10日発行



文化講座 第100回記念講演会



講演者
 ジャーナリスト
櫻井よしこ氏

教育が
 拓く
 未来

第100回文化講座 記念講演会

日時 2016 10.19 (水)
 (平成28年)
 午後3時半開会
 場所 パレスホテル東京 2F「葵」
 主催 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟
 〒151-0051
 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-10-205

問合せ ☎ 03-5772-0677

櫻井よしこさんは1945年、敗戦の混乱の中、ベトナムの野戦病院で生まれました。引揚げ後は、両親の故郷である大分県と新潟県で少女時代を過ごし、新潟県立長岡高等学校を卒業しました。そしてお父様がレストランを経営していたハワイに渡り、自活しながらハワイ州立大学歴史学部を卒業しました。帰国後米国の新聞社の「クリスチャン・サイエンス・モニター」紙の東京支局に勤務し、アジア新聞財団DEPT H(デプス)NEWS記者、同東京支局長を経て、フリーのジャーナリストとなりました。その傍ら、日本テレビ「きょうの出来事」のニュースキャスターを16年間努められたこ

とは皆様ご存じのとおりです。95年に中央公論社から発行された『エイズ犯罪・血友病患者の悲劇』で第26回大宅壮一ノンフィクション賞を、98年に新潮社から発行された『日本の危機』を軸とする一連の言論活動で第46回菊池寛賞を、そして2010年にフジサンケイグループの正論大賞を受賞しています。現在は言論活動に専念し、2008年12月に設立された公益財団法人国家基本問題研究所の理事長に就任しております。また毎週金曜日夜9時に各界のゲストを自身の書齋にお招きして、インターネットテレビ番組「櫻LIVE(さくらライブ)」を生放送でお届けしています。

平成28年9月には、文化講座第100回目を迎えることから、「文化講座第100回記念講演会」を左記のとおり開催する予定です。

多くの皆様にご参加くださいますようお願い申し上げます。

第63回大会 引き続き同ホテルの「葵(西)」にて、午後5時半より開催いたします。

私たちの活動報告

ひと粒の種 news or letters

平成16年から花の種運動として、会員はもとより各方面に種を配布して参りました。

10年目に当たる2年前に環境問題に取り組み『水』をテーマにリーフレット等を刷新し、今年も3月の彼岸と4月花まつりに間に合うようにと役員、会員有志による花の種(ひまわり・朝顔・コスモス・矢車草など)の発送作業を行いました。

事務局にあるリーフレットを差し上げた方からは朝顔が咲きましたとの報告が、別の方からも友人から花が咲いたとの写真が送られてきたのと言われ、同じ日にうれしい声が、そしてある時は、電話口で今年も花が咲き楽しんでますよ。等々。

また、役員の後藤陽子様関わっていらっしゃるむさしのパイロットクラブ、深谷地区更生保護女性会、深谷保育園等からお礼の手紙や写真が寄せられました。

今回は誌面の都合上一部のみ掲載させて頂きました。
 事務局



こんなにきれいに咲きました。ひまわりさんとハイポーズ!

- 7月
- 1日 「全佛婦」123号発行
 - 7日 (公財)全日本仏教会第1回支援検討会議(明照会館)
 - 27日 第1回常務理事会
第3回役員会(天王寺)・懇親会(上野・梅の花)
 - 28・29日 第9回東日本被災地訪問(石巻)

- 8月
- 4日 比叡山宗教サミット29周年「世界平和祈りの集い」(比叡山根本中堂)
 - 9日 大和証券主催セミナー「公益・一般社団・財団法人が知っておくべき不正事例」
 - 14日 第51回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(九段・千鳥ヶ淵墓苑)

- 9月
- 5日 日蓮宗宗務院・本山本行寺・大本山川崎大師平間寺訪問
 - 14日 第4回役員会(天王寺)
 - 26日 (公財)国際仏教興隆協会理事会(明照会館)
 - 26~28日 第28回世界仏教徒会議韓国大会(韓国・ソウル)

各事業にご協力、またご賛助いただき、ありがとうございます。

▼賛助金にご協力の方々

曹洞宗 浄土宗 真言宗豊山派 真言宗智山派 念法真教
 天台宗 日蓮宗 真言宗須磨寺派 真宗木辺派
 総本山知恩院 総本山四天王寺 妙法院門跡
 毘沙門堂門跡 輪王寺門跡 中宮寺門跡 法隆寺
 大本山成田山新勝寺 大本山川崎大師平間寺
 大本山高尾山薬王院 高幡不動尊金剛寺
 大本山善光寺大本願 大本山善光寺大勧進 大本山増上寺
 大本山護国寺 大本山池上本門寺 本山大坊本行寺
 音羽山清水寺 大雄山最乗寺 安国寺専門僧堂 孝道山
 真如苑 總持寺 天王寺 妙清寺 深大寺 梅窓院
 上品蓮台寺 金乗院 回向院 妙高寺 慈眼寺 金剛院
 浄真寺 長専院 光明院 金嶺寺 善養寺 圓珠院 宝蓮寺
 満願寺 西新井大師總持寺 法蔵院 竹林寺 如宝寺
 清岸寺(公財)国際仏教興隆協会
 (公財)仏教伝道協会 日本仏教鐘仰会
 京都仏教会 更生保護法人日新協会 柴田龍太郎(弁護士)
 (株)中山石渠 泰書會 ITRI日本センター

▼ご芳志を頂きました方々

末廣久美 河原時子

▼あおぞら奨学基金にご協力の方々
 無憂樹の会

▼タオル運動にご協力の方々

寂光院 小島良枝

▼里親運動にご協力の方々

上原桂子 大橋百合子

▼誌代にご協力の方々

木南鈴子

▼写経運動にご協力の方々

【宝光院】

谷中 好江 中澤 恵子

猪瀬三枝子 中井幸江

金澤 昌子 大橋百合子

金井佐久子 花岡眞理子

浜野福貴子

【金蔵寺】

瀧口 恵子 小島 健一

安田 雅代 中島美世子

中岡 美和 梨本三千代

【事務局】

村上 和之 海老名初江

横山 俊子

(7月1日~9月20日現在)

(順不同・敬称略)

今後の文化講座予定

▶ 第101回

【日時】
 2016年11月30日(水)
 午後2時~
 【場所】天王寺
 【内容】写経会

▶ 第102回

【日時】
 2017年1月18日(水)
 午後2時~
 【内容】
 谷中七福神めぐり

▶ 第103回

【日時】
 2017年2月(日付未定)
 午後2時~
 【内容】
 青年僧と語らうー曹洞宗ー

会員の活動状況

当連盟の会員の皆様は、子供たちのために地域のために様々な取り組みを行っております。今回は、その一部をご紹介します。

朝霞 念法寺 念法眞教関東ブロック 夏の子供会合宿

会員 桶屋良法

念法寺では、子供たちが明るい・正しい・仲良い生活を送れるように、子供会を開いて様々な作法やエチケットなどをみんなで楽しく学んでいます。

今夏は、関東にある念法寺が合同で、1泊2日の子供会合宿を朝霞念法寺にて開催し、多くの子供や青年たち、お手伝いの方々が集いました。

今回の合宿のテーマは「すべて」のことに『ありがとう』といえる心あたたかき子になるうです。私たちは毎日、たくさんの人やもののお世話になって生きています。そのことに子供たちが気づき、すべてのものに感謝して、『ありがとう』と感謝の気持ちを伝えられる人になってほしいという願いが込められたテーマのもと、合宿では、身近な「水」に焦点を当て、子供たちに水の有難さと大切さを伝えました。



感謝の気持ちを込めて...

お風呂の中ではまず、お湯を洗面器に汲み、3回両手で頂いて合掌します。これは「天・地・人（天のご加護・大地の恵み・人のご恩）」に感謝してお風呂に入るという意味があります。子供たちは、このような諸作法の説明にも真剣に耳を傾け、教わったことをすぐに実践していました。

また、「水の結晶」の研究にもふれました。水を入れた瓶に『ありがとう』と『ばかやろう』と書いた紙をそれぞれ貼って、一晩置いた水の結晶の写真を見比べる

子供会合宿では、色々な角度から「教え」を学び合うことができます。ひとりひとりの意識が変われば、家庭や学校、やがて地域社会を変える力になります。これからも子供会や子供会合宿を継続的に開催し、日本はもとより、地球の未来を担う子供たちに、幼いうちから「人として大切なこと」をしっかりと教え伝えて、平和な世界の実現に向けて一歩ずつ歩んでいきたいと思います。

無憂樹の会

東日本石巻訪問記

団体会員 無憂樹の会 山居享子



私たち無憂樹の会では、震災より毎年慰問に訪れて今年で5年目になります。私は今年初めての参加でした。昔、中学生の時、伊勢湾台風の大きな被害に遭った私は、こうした泣いても元に戻ることはできない大きな痛みを感じることは出来ないはずと避けてきました。語るに語れない、触って撫でてもらえるものでもない事を一番知っていた

るからでした。撫でれば撫でるほど痛む傷口です。7月28日、私たち6名は仙台に出発いたしました。仙台は大きな都会でした。その賑やかさと緑多き街並に何か張りつめていた気持ちがほっとさせられました。翌日は石巻市に向けて早朝出発しました。万石浦小学校の学童100名ほどの子どもたちと一緒に午後の時間を過ごすお手伝いでし

た。浄土宗の青年僧侶の方、全国青少年教化協議会の方たちと色々なゲームをしたり、お菓子作りをして、私たちの会は「うちわ作り」と「お茶席」でした。うちわはあらかじめ片側を張っておき、もう片側を張ってもらって絵を描きます。その完成品を持って、後で万石浦音頭を踊ることになっていました。うちわ張りには糊がはがれてしまったり大変でした。子どもたちに最高の笑顔を描いてちょうだいと言ったら、皆可愛い絵を考え考え描いてくれました。少し気になったのは、

幽霊がいっぱい飛んでいる絵を描いている子がいたことです。なんと声を掛けたいのでしよう。お茶席もおばあちゃんに飲ませてあげたいといった子もいたそうです。最後にスイカ割りに興じ、子供たちとの半日は終わりました。

最終日は、荒浜の海岸に立つ観音菩薩の前で供養の読経をし、今だ復興ならぬ傷跡に手を合わせ生存者の今後の幸せ、犠牲者への追悼を心よりお祈りいたしました。自宅に帰ってきて自分の今あることを感謝し、



盆踊りのいいな



地域に集う『蛍の夕べ』

会員 梨本 三千代

6月11日午後4時、船橋市長の挨拶を皮切りに第5回「蛍の夕べ」の各イベントが開催されました。子供たち30人の太鼓演奏、古武道、地元発信の体操、伝統芸能など様々なボランティア団体が集まり、盛り立てて蛍祭りが始まりました。

遡ること6年ほど前、当山の湧水、船橋市唯一の【えび川】の源流に感激し、「この清流を守り、子供たちにつなげたい...その手段の一つとして蛍を飛ばしたい」と地域の一人が声をあげ住職に相談を持ちかけてきたことに始まります。

瞬間にグループが出来、月に一度の清掃活動から始まりました。子供たちに水の大切さ、故郷、地域や人とのつながりなどの意識を持ってほしいとの思いは回を重ねるごとに参加人数を増やしていきました。

流れの清掃、道路の整備、柵や橋造り、蛍のための水草や周囲への植樹、枯葉の除去等々の日々は「楽しんでやらせたいグアイテイル…」と口にはしているといえ頭の下がるボランティア活動の日々です。

今年からは蛍の里親基金を募り、観るだけでなく積極的に蛍の育成にも関与してもらおう作戦も功をなして、驚くほど多くの方に御協力をいただき、マスメディアでも協賛して下さり、新聞や船橋TVなどに掲載され、実に1000人を超える人々が蛍の幽玄な命に触れ、大切なものを感じ取ってくれていると思われま

境内の樹々に蛍が飛び交う様が、故郷を、又樹々を水を、そして生命を大切に育んでいってくださる事を期待しつつ、来年に、また次へと地道に地域活動を続けます。(御瀧不動尊)